

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



雨が降った日に、ある子に「すてきな傘だね」と声をかけると、「ありがとうございます」と答えます。また、別な子に「傘の色がいいね」と声をかけると、やっぱり「ありがとうございます」と答えます。ほめられて、どう振舞ってよいか分からずにもジモジするのではなく、本当に自然に「ありがとうございます」と言えるのが、とってもステキに感じました。

そこで、考えました。このように振る舞えるのは、なぜなのか。

家庭教育がよいから

一つは、家庭できちんと「教えている」ということがあげられます。場をとらえて「ありがとうございます、って言うんだよ」と教えているのかもしれません。

もう一つは、親や周囲の大人がよい「モデル」となっているということがあげられます。親の振る舞いを見てマネをしているのかもしれません。

学校教育がよいから

本校では、「さあいこーごお」という“あいさつの約束”を子どもたちに指導しています。この指導が浸透しているとしたら、うれしいことです。

結論を言うと、学校と家庭の両方のよい影響が相乗効果となって、子どもの「行動の変容」につながっているのだと考えます。



あいさつの約束「さあいこーごお」

- さ … さようなら
- あ … ありがとうございます
- い … いただきます
- こ … こんにちは
- ご … ごめんなさい
- お … おはようございます

4月の全校集会で、生徒指導主事の早川先生が子どもたちに指導をしました。

「あいさつ運動」を行いました

児童会の委員会の活動が、本格化してきました。先日は、児童会計画発表会も行われ、各委員会の活動内容について確認をしました。



JRC委員会の子どもたちが、毎朝、昇降口近くの廊下に立って、あいさつ運動をしました。

上級生にあいさつをされて、1年生も、あいさつの大切さや心地よさに気付いたことと思います。

あいさつの輪がますます広がっていくことを願っています。

図書室の整備が進んでいます



新しい書棚も入り、よりきれいで使いやすい図書室になりました。環境の変化が刺激になって、読書への意欲が高まることにつながってほしいと思います。